

公益財団法人軽井沢美術文化学院

2023 年度事業報告書

1. 美術館の運営（公益事業 1）

2023 年 6 月 10 日（土）～11 月 5 日（日）の間、西村八知の没後 10 年の節目でもあり企画展では西村八知の作品とコレクションを展示し、八知の「美の散歩」の世界を堪能してもらった。同時に西村伊作の妻、八知の母である西村光恵による子供服、日本画、陶芸などの手仕事と手遊び（てすさび）の作品を紹介した。

1) 企画展

第一室 常設展 西村伊作の生い立ちと作品

西村伊作の絵画、陶芸、書籍、手掛けた建築（写真、模型）などを展示。ライフスタイル、子供の教育と文化学院について写真と展示パネルで紹介した。

第二室 伊作の妻 西村光恵の手仕事と手遊び

西村光恵による子供服、日本が陶芸などの手仕事と手遊び（てすさび）の作品を紹介した。

子供服のデザイン、実際の作品、その作品を子供たちが着ている写真青土を展示した。

破格の自由人伊作に嫁ぎ 9 人の子供を育てた光恵の創意工夫と創作を楽しみながら生きた様子が伝わる展示を目指した。

第三室 西村八知の美の散歩 八知の作品とコレクション

1988 年から 2007 年まで文化学院の校長であり、美術作品や作家たちを友人や恋人のように慈しみをもって語る人間味あふれる彼の美術史の授業は生徒たちに人気であった。

生涯を通じて制作した絵画、テラコッタ、パピエコレなどを彼のやさしい言葉で語る美の哲学エッセーとともに展示した。

ギャラリートークは今年度行わなかったが、八知先生を慕う文化学院卒業生の会「八知の会」の集まりが 7 月 8 日に開催された。

美術館への入館者総数は 1,707 名で前年度より 67 名の増加であった。

2) カフェプレオープン 4 月 29 日(土)～5 月 7 日(日)

カフェへの来客が多く、766 千円の売り上げ、昨年度より 89 千円の増加。

3) ローズフェスティバル

例年通り 6 月 17 日(土)～7 月 2 日(日)美術館入館者はカフェ 100 円割引で行った。

4) 秋のアートフェスティバル 10月8日(日)

入館無料でスケッチ大会開催、子供にはクレヨンとスケッチブックプレゼントした。当日スケッチした作品を預かり、閉館までカフェの壁に展示した。参加者57名。

5) サマーコンサート

昨年同様感染防止対策のため、検温と消毒、連絡先の記入を実施の上下記のコンサートを開催した。

- | | |
|------------|------------------------------------|
| ① 7月30日(日) | 山口佳子ソプラノコンサート (第3回) |
| ② 8月6日(日) | 近藤和花ピアノコンサート (第15回) |
| ③ 8月10日(木) | 寺田悦子・渡邊規久雄/四手連弾ピアノコンサート (第5回) |
| ④ 8月12日(土) | ボサノバ・サパトス/木村 純・三四郎 (第19回) |
| ⑤ 8月19日(土) | 秋山修デュオコンサート <i>Concerto di Due</i> |
| ⑥ 8月22日(火) | カントリーミュージック軽井沢 |
| ⑦ 8月26日(土) | 戸室玄ピアノリサイタル (第3回) |

2. アトリエの運営 (公益事業2)

アトリエ・ルヴァンでは以下のイベントを開催した。

陶芸教室 7月 (講師: 森田高正)	7月13日(土)~7月14日(日)
夏休み染めの実験教室 (講師: 立花万起子)	8月7日(月)~8日(火)
陶芸教室 8月 (講師: 森田高正)	8月12日(土)~8月13日(日)
木工教室 (講師: 永島秀之)	8月14日(日)~8月17日(木)
陶芸教室 9月 (講師: 森田高正)	9月21日(土)~9月22日(日)
ウインターオーナメント作り (講師: 大谷香)	10月12日(土)

陶芸教室は5年目となり、リピーター率がかなり高いワークショップ。一回8名までとしているが、定員オーバーすることもあった。累計57名の参加

夏休み染めの実験教室では講師は立花万起子学芸員がつとめた。ルヴァンの庭の植物で染料をつくり、絹のハンカチ染めを行う。今年は桂の葉で染料を作り累計11名の参加があった。

木工教室は子供たちが楽しみにしており今年度は22名の参加。

ウインターオーナメントはルヴァンの庭の植物を主に使ってハロウィン、クリスマス、お正月と使える飾り(スワッグ)をつくる。キャンセル待ちが出るほどの人気で16名の参加。

3. 宿泊施設の運営 (公益事業3)

これまで学生寮として運営してきたが、2018年3月の文化学院閉校にともない、美術館付属の宿泊設備と登録変更し認可された。主な宿泊者はイベント講師や美術館のコンサート演者で、美

術館訪問の一般の方はあまり多くない。

文化学院卒業生および関係者には若干の割引が適用している

今年度の売り上げは24万円で前年より85千円少なかった。

4. ショップ、カフェの運営（収益事業）

ショップ売上は約125万円で昨年度より7%の増加となった。

カフェの売り上げは843万円で前年度の738万円から15%増と大幅に伸びた。美術館庭園を見渡せるオープンテラスの雰囲気が来館者を惹きつけており、カフェメニューも味と値段ともに好評で新しいものも加わっているのでリピーターは順調に増えている。

5. その他

他の団体への寄付

新宮市の西村記念館と旧チャップマン邸については引き続き維持、保全のための寄付を行った。

6. 評議員会、理事会など

2022年度の決算理事会、評議員会は久しぶりに対面で行った。

当年度は評議員の任期満了となるため評議員選定委員会を開催、全評議員が重任となった。

長野県の立ち入り検査が7月21日に行われ、改善事項として下記指摘があった。

- ① 理事（監事を含む）と特別の関係ある（または同一団体の）理事合計数が理事総数の1/3を超えていないことを確認すること。
- ② 役員が欠格事由に該当しないことの確認し書類を残すこと。

上記に対し、下記の改善報告をおこなった。

- ① については、発足時に履歴書で確認済し、新任も履歴書を取り付け確認している。
- ② については、就任承諾書で欠格事由に該当しない旨の記載をしてもらう。

以上